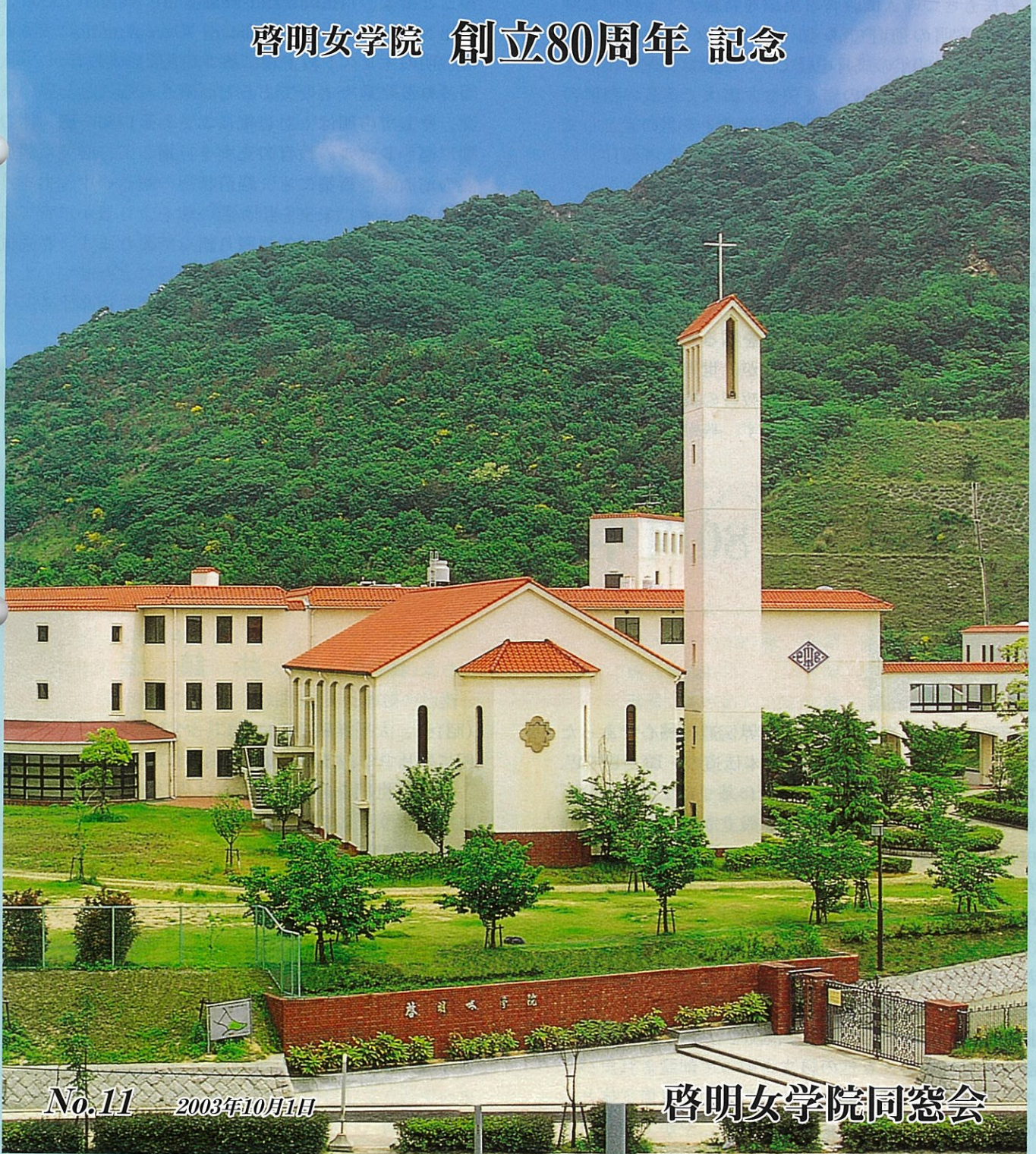


# 金星

啓明女学院 創立80周年 記念



No.11 2003年10月1日

啓明女学院同窓会





## 母校「啓明」の新たな歩み

金星会 会長 渡 邊 カナコ

金星会会員の皆様、母校創立80周年おめでとうございます。

神戸は山の手のエキゾチックで瀟洒な校舎で、家族的な少人数の女学院としてスタートしたキリスト教主義にもとづく人間教育と英語を特色とする啓明女学院が、啓明の前身であるパルモア女子英学院独立(1923)より80年の歳月を経て今、須磨は横尾の清澄な山の緑に囲まれ紺碧の海を望む、広大で美しい白亜の校舎で、現在までに17000名余の卒業生を世の光として送り出すに至りました。「祈り」と「愛」と「奉仕」の建学の精神は、脈々と受け継がれております。

精神文明の21世紀を迎え、母校は時代のニーズに応じて一大改革の下、昨年発行の「金星」でお伝えしましたように、より豊かな教育の場へと、飛躍的な変身を遂げつつあります。

昨今の世情を見ますと、社会を揺るがし人心を寒からしめる恐ろしい青少年の犯罪が、世界的に多発しております。社会の在り方、家庭教育の機能低下が問題視される中、知的教育のみならず、豊かな人間形成教

育が益々重要となってまいります。人間としての「生き方の基本」を身につけるのは、人生で一番大切な中学高校時代です。そのかけがえのない時期を、どのような質の精神教育をする学校で学ぶかは、看過できないことです。「Hands and hearts are trained to serve both Man below and God above」のscool mottoに表される啓明のキリスト教主義に基づく人間形成教育が、「人づくり」に<sup>いよいよ</sup>必要であると認識されることと思います。そして啓明は、21世紀にふさわしい知・徳・体の更に高いレベルの教育の充実を目指して、必要な諸施設の増改築、新築にも、経済状況の厳しい中、力を注いでおります。未来を担う若い魂をより豊かに育てるために、母校が意欲的に取り組んでおります。私達同窓生も及ばずながら、少しでもお役に立たせていただきたく、皆様の温かい御理解と御支援を何卒よろしく御願ひ申し上げます。

世界の平和と母校の益々の発展、皆様の御健勝と御活躍を心よりお祈りしております。



## 80周年の歴史を更に

理事長 今 井 鎮 雄

百数十年前、当時もっとも世界伝道に熱心であったアメリカ・メソジスト教会の日本伝道の一環としてW. R.ランバースとご家族がその使命に基づいて日本を縦断され、多くの教育機関と教会を設立されました。その中に関西学院・聖和大学、パルモア学院、そして特に女子教育へのミッションを持ってパルモア学院の女子部として女性の教育機関が生まれました。

1923年(大12)には、C.G.ハランド宣教師が遣わされ、キリスト教の命と女性の自立のための女子英学院が改組されて出発しました。当時、新たな近代文明を拓くために女性がどのような役割をとるべきかを考え、語学教育を中心に女性の自立を願って創設されたパルモア女子英学院は、女性の社会的役割と責任主体としての啓蒙と刺激を時代に与えました。やがて戦争が近づき、学院の名称は啓明女学院と改められて、1941年

(昭16)、太平洋戦争の直前に、ハランド先生は心を啓明に残しつつ、アメリカへ帰国されたのです。

いま21世紀を迎え、私たちは再びあらたな使命を引き受けようとしております。それは21世紀の子どもたちや青年がどう生きるかを考え、彼らを導き守るために教育を建て直すことです。Hand to Heart, Train to Serveという標語は、啓明から社会と時代へのメッセージとして、新たな時代にも思いをいたさねばなりません。

同窓生の皆様には、啓明での学びを思い出していただき、常に時代の要請に応じて歩み啓明のためにお祈り下さいますようお願いいたします。





# 院長就任に際して

院長 宮田 満雄

本年4月にはからずも中島貞夫先生のあとをうけて院長に就任いたしました。私はランバス先生が創立された関西学院に高等部より学び、大学卒業後は母校で教鞭を取る機会に恵まれ、定年を迎える最後の3年間はこちらもランバス先生ゆかりの聖和大学に勤務した者です。今またランバス先生ゆかりの啓明の院長に就任することになり不思議な導きを感じています。「金星」No.9に渡邊会長や中島院長が「ランバス関係姉妹校間協定」について書いておられますが、この協定書に関西学院を代表して署名をさせていただいたことを思い出します。1998年3月のことでした。ご承知のことと思いますが、ランバス関係姉妹校とはパルモア学院、啓明女学院、広島女学院、関西学院、聖和大学の5校で、いずれも米国南メソジスト監督教会から派遣された1886年来日されたランバス宣教師ご一家がそれぞれの創立にかかわられたものです。

啓明は今、これら姉妹校の中の特に関西学院との関係強化の中で新しい計画の実現へ向けて歩み出しています。これは長い歴史を誇るキリスト教主義学校としての使命を新しい時代においても一層強く果たすため、また、創立者の播かれた生命の種からの実りをさらに豊かなものにするための計画であります。『人にはいろいろな計画があるが、ただ主のみ旨のみが実現する』と聖書は教えていますが、私達の計画が主のみ旨にかなうものであるという確信をもって努力したいと思えます。啓明では今元気な女子中学生の声に混じって元気な男子中学生の声が響いています。

金星会の皆様におかれましてもそれぞれに母校の歩みを見守って下さり、その確かな歩みを祈りのうちにおぼえて下さいますようお願い申し上げます。先ずはご挨拶とさせていただきます。



# 尾崎八郎校長に

## インタビュー

Q①今後の「啓明」に期待されることは？

A 私（土）の器を空にして愛したくって仕方がないと言われる方（イエス・キリスト）から生命の水で満たしてほしいものです。人知を超えた神様の物指しを探求する学院でありたいと思えます。

Q②「啓明」にこられて特に印象深く感じられることは？

A いろいろの事情をかかえながらでも、明るく元気に挨拶してくれて、先生の上に神様のお恵みがありますようにと祈ってくれたり、努力を積み重ねて目標を達成し、握手の機会をつくってくれる生徒達を思うと、心やさしい頑張り屋のこの生徒たちのために、私もベストをつくしてあげたいと思えます。

Q③卒業生に短いメッセージを下さい。

A 喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣く、また神を畏れよという訓えは私達の知情意という見えない、しかし豊かな心の働きを真実なものにしてくれています。母校と後輩達を覚え祈って下さい。皆様が感謝と平安に満たされて人生を歩まれるよう祈ります。

Q④先生の「啓明」のイメージの④植物（花）⑤色は？

A ④ヘリオトロープ（匂い紫） ⑤紫 献身的な愛 陶醉  
堇（すみれ） 紫 誠実な愛 信頼  
菖蒲（あやめ） 紫 よき便り 神秘的な  
サクラン 暁の女神 紫 歓喜 節度ある態度

Q⑤最後に、先生より同窓生に、何かお知らせがございますでしょうか？

A 金星会、同窓生の皆様が募金に御協力下さり、在校生の美しい魂を入れる土の器の鍛錬のための、念願のプール建設の御支援をくださることを心から嬉しく思っています。

また本年創立記念日（10月18日）直前頃に発刊の「週刊朝日」に、啓明女学院特集を組む予定にしておりますので書店にてお求め下さい。宗教科の先生方は学院史の教科書を編纂中ですから、適当な史料をお持ちの方はご提供下さるようお願いいたします。

（ありがとうございました）



# 今話題のヴォーリス建築について

“旧校舎から現在の校舎へ新築移転”

元院長 モース 斉藤

1886年、ランバス博士父子によって、神戸に教会とパルモア学院が創立されました。同じ頃、広島女学院も創立されました。パルモア学院で日本初の女性タイピストが誕生したのは、おそらく1912年のことでした。これも、啓明の歴史の一部です。

1889年、パルモアの昼間男子部が関西学院となり、1875年創立の神戸女学院旧校地に近い、ある宣教師館を使っていました。後に関西学院は神戸から離れ、現在の王子動物園の場所に移りました。間もなく、カナディアン・アカデミーが関学の北側へ移転してきました。

女子聖書学校と幼稚園が1921年に宣教師館から転出

し、パルモア女子英学院は、ヴォーリス設計の新校舎を得たのです。

私達は、1923年のこの「啓明のふるさと」が大へん気に入っていましたので、現在の校舎もヴォーリス建築事務所にお願ひしました。ですから、今日の啓明には、昔の啓明や神戸女学院、関西学院、そして多くの美しい建築と同じ、ヴォーリスらしさが感じられるのです。

[付記] モース斉藤元院長は宮崎明治元理事長と共に、今井鎮雄YMCA総主事（現理事長）をアドバイザーに迎え、旧校舎より現在の校舎に新築移転し、若い魂を育てる広大で清らかな器造りに尽力されました。

## 元院長・校長へのアンケート

- Q① 今後の「啓明」に期待されること。
- ② 「啓明」に御在職中、印象深く感じられたこと、又は思い出。
- ③ 卒業生に短いメッセージを下さい。
- ④ 先生の「啓明」のイメージの ①植物（花）  
②色 をお書き下さい。（敬称略）

前院長 中島 貞夫

- ① ランバス関係姉妹校協定による「啓明」と「関学」との教育提携が結ばれて、キリスト教主義に基づく十年一貫教育の課程が確立されました。登下校時に毎日目にする「わたしは道であり、真理であり、命である」という聖書の言葉は、イエスに従って行くことが人生の王道を歩くことであり、イエスの言葉こそが真理であるということを教えています。啓明で学ぶ生徒たちが、自分の人生の意味と目標をしっかりと見出すことを期待しています。
- ② 「明るい声でしっかり挨拶のできる生徒がたくさんいる学校」というのが啓明女学院に対する私の第一印象です。
- ③ 幸せな人生を過ごす秘訣は、自分がしたいことをすることではなくて、自分がしなければならないことを好きになることです。
- ④ A白梅 「勇気こそ地の塩なれや梅真白 草田男」  
B藤色

元校長 黒川 行信

- ① キリスト教精神に基づき、優しい心、高い知性など豊かな人間性を育てる特色のある学校として発展してほしいと願っています。
- ② 阪神・淡路大震災で大切な生徒を失ったこと、運動部・文化部が全国大会や近畿大会、県大会などで優秀な成績を収めたこと、国公立大学に多くの生徒が進学したこと、メジロの雛の衝突を防ぐため、ステンドグラスを造ったことなど数えきれません。
- ③ 「去私順礼」わがままな私心を去り、礼儀正しく、共に生きるマナーや倫理を大切に、元気に活躍されるようお祈りします。
- ④ A木犀 清楚で、気品ある香気を放つ。  
Bオレンジ 明るく温かく優しい。

前校長 祢津 茂實

- ① いつまでも「啓明」であること。
- ② 啓明一筋、思い出一杯。旧校舎は繁華街で狭いながらも、創意工夫でそれなりの充実感があった。60周年で校舎移転で、総ての行事が自校で出来るなんて夢のようでした。  
啓明の生徒は「皆良い、いい子が多い」  
電話は（741）-1501に恵まれ、卒業生の母校愛に接し、80年の伝統ある啓明に感謝します。
- ③ 祈り、愛、奉仕を基に“地の塩”“世の光”となること祈ります。
- ④ A旧校舎より移植した「しゅろ」「金（銀）木犀」創立記念日頃、淡黄色の小さな花が寄り添って芳香する。  
B赤と青との中間色である高貴な紫色。



# 母校だより

## 〈クラブ活動〉

**生徒会顧問** 坪井しのぶ

卒業生の皆様、お元気でいらっしゃいますか。今年度より、生徒会のお世話をさせて頂くことになりました。三宮の校舎から、ここ横尾の地へ移転して20年が経ち、現在、14の運動部、21の文化部が顧問の先生を中心に意欲的に日々活動しています。その中で今年度放送部、サッカー部、ソフトテニス部、体操競技部が、全国大会出場のカップを手にすることができました。また、啓明学院中学校が発足されて2年目、新しい活動も始まり、全国大会出場クラブ、また新しく変わろうとしているクラブの近況を顧問より紹介致します。

**放送部** 顧問 中出 恵子

平成12年度第47回NHK杯全国大会ではみごと準優勝を頂きました。この番組はハンセン病患者の方の取材を通して差別をこの世からなくそうというメッセージを伝えたものです。今年も昨年に続き全国大会に、またNHK全国中学校大会にも出場します。

**サッカー部** 顧問 斎藤 唯元

1983年創部 現在女子25名、男子中学生20名計45名で活動しています。女子は1992年から連続11回全国大会に出場し、優勝2回、準優勝3回、3位が2回と好成績を残しています。本年も埼玉県で開催される全国大会の出場権を得ています。男子は、今年度から中体連に加盟し、初勝利を納めています。

**ソフトテニス部** 顧問 石川 順子

少子化の影響で高校生の数が減少する中、本校は40名を超えています。戦績も神戸市優勝、近畿大会6年連続出場、2000年にインターハイ初出場し、今年度は2度目の出場（長崎県）となりました。またOG会を毎年一回行い、会員数も100名を超えています。

**体操競技部** 顧問 坪井しのぶ

1984年愛好会から出発して19年が経ちました。さまざまな方のお力添えを頂き神戸市5年連続優勝、近畿大会5回出場今年度はインターハイ（長崎県）、国体と出場権を得ることができました。また、

啓明体操部から関学大へ進学した卒業生も関学大体操部で活躍しています。これから啓明学院中学から関学大まで一人でも多く体操好きな生徒が生まれるようにと願っています。

**陸上競技部** 顧問 国宝 隆司

昭和53年に創部。今年で25年をむかえることになりました。その間、学校の移転もあり思うように活動の出来ない時期もありました。そんな中昭和61年初めて近畿大会に出場することが出来ました。今、現在、夏には大山高原で合同合宿を実施しながら目標に向かって頑張っています。25年連続県大会に出場することが出来ましたことを報告しておきます。

**テニス部** 中学顧問 松永 力

昭和57年に旧校舎で硬式テニス愛好会として発足してから20年後まさか男女のテニス部になろうとは夢にも思いませんでした。現在、高校40名、中学45名のメンバーで、今できる範囲内のことを頑張っています。

**タッチフット** 顧問 宮田 極

昨年の夏より活動を続けていた我々は多くの方々のご支援により今年度からクラブとしてスタートを切ることとなりました。相手とぶつかり合う豪快さと、緻密な作戦を立てる知性、それを実行する勇気が必要なスポーツです。チームと個人に対し自らが目標を定め、全力で取り組む姿勢を大切に今年度も活動していきたいと思っています。

**吹奏楽部** 顧問 内海 大成

現在、高校生35人、中学生15人計50人で活動しています。毎年夏のコンクールに出場し神戸地区大会では毎年金賞を受賞しております。また県大会を勝ち抜き関西大会に出場した年もあります。今年度には待望の男子部員を迎え、美しさの中に力強さを感じさせる演奏を目指し日々練習に励んでおります。



練習風景

**Y.W.C.A部** 顧問 藤川 勝洋

現在部員24名で活動しています。活動の主なものを紹介します。

1. 募金活動「チャイルドスポンサー募金」「あしなが学生募金」

2. 施設訪問「コスモス苑」「神戸真生塾」「長島邑久光明園家族教会」
3. 近隣の学校との交流「青陽西養護学校」「青陽高等養護学校」「垂水養護学校」「県立盲学校」
4. 収集活動、テレホンカード、アルミ、プルトップ、文房具、歯ブラシ、歯磨き剤を集めています。



街頭募金活動

**和太鼓** 顧問 高橋 健

2002年度の土曜講座より、信州御諏訪太鼓の源流をくむ小心太鼓奏者松本裕先生にご指導を頂き、和太鼓の講座「啓明太鼓」が開講されていましたが、本年度よりクラブとしてスタートを切ることになりました。啓明学院の新しい伝統を作っていこうと部員一同はりきっておりますので、乞うご期待！今後もよろしくお願ひ致します。

それぞれのクラブ活動は先輩方の時代以上に目標に向かって精一杯頑張っております。どうぞ母校に立ち寄って頂き、ご声援して頂きますようお願い申し上げます。近況報告とさせていただきます。

坪井しのぶ

## 〈新しい施設・格技室〉

〔7月15日 鍬入れ式〕

波戸岡峰子教頭

第1期工事の最終仕上げとして、第2体育館の新築が決定されました。7月15日、宮田院長、尾崎校長、渡辺同窓会会長、今西育友会会長、生徒会長が全校生徒の見守り中、「鍬入れ」を行い、新しい第2体育館の完成を期待する起工式が無事に終了いたしました。クラブ棟を解体し、その跡地に3階建て(1818.91㎡)の第2体育館となります。1階は部室20室、体育館倉庫(140.50㎡)、2階は部室20室と大文化室、3階は主に剣道が出来る格技室(484.50㎡)です。生徒達は年内完成を心待ちにしており、教職員一同も生徒達の自主的なクラブ活動がますます盛んになる事を大いに期待しております。



## サタデーカレッジ(土曜選択講座)

進路指導部 山中 鏡子

2002年度より本校では学校週5日制になりました。それに伴い、土曜日には通常の学校の授業とは異なる様々なプログラムを展開し、4月から12月まで年間18回開講しています。

土曜講座のプログラムは3分野に別れており、数学や英語・国語など平日の授業を補完・充実させる内容のもの、「マイゆかたをつくろう」「エンジョイクッキング」「啓明太鼓」など趣味と実益をかねたもの、外部に依頼して実施する教養講座等があります。



「啓明太鼓」の講座では、中高男女26名が大小9個の太鼓を使用して練習し、勇壮な太鼓の音を小ホールから

響かせています。「マイゆかたをつくろう」の講座では、高3高2の女子生徒14名に混じって啓明学院中学2年の男子生徒2名が、作務衣作りに励んでいます。裁断もミシンを使っての裁縫も、女子にひけを取らない腕前で、作品は着々と出来つつあるそうです。

外部提供講座には、英検取得を目指す英検講座や、神戸新聞の現役記者が指導するジャーナリスト入門講座、ブックライター入門講座、看護系の小論文講座、

大学提供講座などがあります。昨年から実施している甲南女子大学提供講座「何のために学ぶのかー21世紀を生きる女性として」、甲子園短期大学提供講座「生活を考える講座ー賢い女性として生きるために」の2講座に、本年度は関西学院大学中等部で学び、現在関西学院大学を始めとして諸大学で研究者として活躍している先生方による「一隅の教育にかく学んだー好奇心から始まる生きた教育」の講座と、聖和大学提供講座「保育と幼児教育について考えるー命と平和を基にして」の2講座が加わりました。

大学で教鞭をとる先生方の、高校生・中学生にぜひこれを伝えたいという、熱のこもった100分間の授業は大変充実しています。ある先生は、大学の授業の3倍の準備時間がかかりましたとおっしゃっていました。希望者が多く定員オーバーの聖和大学提供講座を除く3講座は、保護者の参加も呼びかけた結果、それぞれ10名近くのお父さんやお母さん方が生徒たち以上に熱心に聴講しています。あるお母さんは「娘の高校で大学の講義を聴くことが出来るとは。学生時代よりも熱心に聴いています。」と毎回の講義を楽しんでいる様子でした。

土曜講座は今までの学校教育の枠を広げ、生徒たちにより豊かな体験の機会を提供しています。何事にも意欲を持って果敢に挑戦する人間に育ってほしい、という啓明の教育の具体化のひとつが土曜講座ですが、生徒たちもそれによく応えて、学びの時間を大切に過ごしています。

## 2003年度 進路状況

進路指導主任 山中 鏡子

2003年春の卒業生270名のうち四年制大学進学は105名、短大進学57名、専門学校61名、就職11名、留学3名、その他33名でした。女子の四年制大学進学希望者の比率は年々高まっていますが、不況を反映してか、技術を身につけようという専門学校進学希望者も減ることはありません。就職希望者は例年、決定者の倍近くあります。しかし企業が高校生に要求する能力は高く、なかなか希望が叶わないのが現実です。就職の方が進学よりはるかに難しいという状況が長く続いています。

啓明女学院・啓明学院では、何事にも積極的に取り組み、果敢に挑戦しようという啓明教育の具体的な現れとして、今まで以上に、英語検定や漢字検定に挑戦することを生徒たちに勧めています。またセンター試験に関しては、特進クラスには全員受験を勧めていますし、その他のクラスにも高校時代の学習の集大成としてセンター受験を勧めています。近年多くなってきたAO入試や自己推薦入試で、希望する大学で学ぶ意欲を積極的にアピールする受験生が増えてきたことは、大変良い傾向だと思えます。

## 2003年度 大学・短大合格状況

【大学】	
学校名	人数
関西学院大学	19
神戸市外国語大学	1
神戸市看護大学	1
大阪市立大学	1
関西大学	1
立命館大学	1
甲南大学	2
神戸学院大学	5
近畿大学	3
龍谷大学	1
神戸女学院大学	2
甲南女子大学	23
武庫川女子大学	5
関西外国語大学	3
聖和大学	3
大手前大学	4
神戸松蔭女子学院大学	5
同志社女子大学	1
神戸親和女子大学	9
流通科学大学	4
神戸女子大学	10
神戸海星女子学院大学	4
追手門学院大学	1
神戸芸術工科大学	1
姫路獨協大学	2

【短大】	
学校名	人数
頌栄短大	3
聖和大短大部	2
武庫川女子大短大部	6
甲子園短大	6
神戸松蔭女子学院短大	8
関西外国語大短大部	3
神戸山手女短大	16
夙川学院短大	7
園田女子大短大部	4
神戸女子短大	4
相愛女子短大	2

【専修・各種学校進学者】			
工業分野	3	教育・社会福祉	3
農業分野	1	商業実務	9
医療分野	19	服飾・家政	3
衛生分野	20	文化・教養	3

【就職者】			
事務	3	看護(就・進)	4
販売	2	介護	0
製造	2		
サービス	2		



# 啓明学院中学校 について

中学校主任 岩宮 節子

卒業生の皆様如何お過ごしでしょうか。それぞれの場所で元気にご活躍のこととお慶び申し上げます。啓明女学院も本年80周年を迎え、中学校も大きく変わりました。

2002年4月に啓明学院中学校（共学校）となり、今年度は、1年生118名、2年109名、女学院で入学した最後の3年生12名で出発しました。

スクールモットーの“Hands and hearts are trained to serve.”（手と心



中1メチャビー（メチャクチャラグビー）  
千苺キャンプ



トライアルウィーク

は仕えるためにきたえられる）の精神を心にきざみ、キリスト教、読書、英語、体育、芸術の5本柱を大切に、学校生活を過ごしています。キリスト教では「祈り」と「愛」と「奉仕」による人間教育を基本においています。毎日、チャペルで生徒も教師もともに神の前に集い、人間の生き方を考えます。読書教育では、「読む」「聞く」「考える」「書く」「話す」。自学自習が「知の探求者」を育てます。英語教育では、世界中の人たちと自由に語り合える語学力を養います。「聞く」「話す」ことに重点をおいて英検2級合格を目標にしています。体育では、毎日の駆け足を日課としています。2年生の青島キャンプでは1kmの遠泳に挑戦します。芸術教育では、美しいもの、真なるものに触れ、自己表現の楽しさを学び、感動する心を育てます。

「共学校になりどんなことが変わりましたか。」という質問をされることがあります。今までの伝統、女子校の良さの上に男子生徒が入り共学校となったことで、それぞれのよさが一つになって今まで以上に活気がでてきています。また関西学院大学継続校になったことで学習面は勿論のこと、特にキャンプ（千苺キャンプ、青島キャンプ）、校外学習など、いままで以上に幅広い活動が出来るようになりました。

一生の中で大きく成長する中学校時代に、生徒の皆さんと一緒に学ぶことが出来ることを大変幸福に思います。

卒業生の皆様、いつでも母校をたずねてくださいまして、生徒の頑張りをご覧いただきたいと思います。



中3修学旅行（九州）

## 新 中 学 生 の 一 言 感 想

### 1年A組 吉森 絢乃

私は啓明学院に入る事ができ、ほこりに思っています。ここでの生活の間に苦手な事を好きになる努力をしようと思っています。

### 1年A組 太田晃太郎

ぼくは啓明学院に入学して勉強も頑張りますが、入試の勉強で忙しく、好きなことができなかつた分を部活でおもいっきり活動しようと思います。

### 1年B組 吉岡絵里奈

本が思いっきりよめるし、読書の先生のたぐみな話術で出会わないような本とも出会えることがよかつたと思います。

### 1年B組 足立 聡

僕は受験勉強で体力が落ちたので勉強をがんばりながら、スポーツをがんばっていききたいと思います。

### 1年B組 戸田麻理江

たくさんの英語の授業やかけ足など、他の学校ではやる事ができないことができて、啓明に入ってよかつたと思います。

### 1年C組 奥田 純子

啓明にまかれた小さな種でしかない私達ですが、六年後にはどんな花を咲かしているのかと、今から楽しみです。

### 1年C組 小林 匠

啓明学院に入って二ヶ月が経ちました。今では友達もでき、楽しい学院生活をおくっています。

### 2年A組 柴田 映里

すぐくのびのびとした学校で、自分の好きな事も出来る時間が増えました。又、以前に比べ充実した日々が送れている様に思います。

### 2年A組 金田由布紀

啓明に入って、毎日が楽しくて勉

強も運動もたくさんできて充実した生活が送れているのですごく楽しいです。

### 2年B組 澁澤 稔弥

啓明に入って、いろいろな個性を持った友達ができて本当によかつたと思います。これからも、いろいろな人と出会っていききたいです。

### 2年B組 飯田 規恵

啓明に入って、まず体力がついたと思う。週4回走ることによって忍耐力がとつた。なにより友達の間が広がった。

### 2年C組 西川沙也香

本校では、いろいろな行事があり、毎日充実した日々を送っています。是非、入学して下さい。

### 2年C組 藤森 真

僕は、走るのが、不得意だつたけど、啓明のかけ足で、きたえられました。みんなおいでよ！



# おなつかしい先生だより

(順不同・敬称略)

## 退職された先生

元教頭 山崎 陳人

啓明女学院の創立80周年をお慶びいたします。80年の歴史の中で、私は92年4月から2000年3月までの8年間を院長先生校長先生や教職員の皆様、同窓会・育友会の方々のご指導・ご協力により恙なく勤めさせて頂きました。8年間毎朝、朝の礼拝に立ち会わせて頂いたことは啓明女学院での忘れ得ぬ貴重な体験でした。教師としての最終の学校が啓明女学院であったことに感謝しています。退職後間もなく妻が発病し昨年末他界しました。今は一人で気儘な日々を過ごしています。

終わりにになりましたが、金星会の皆様のご活躍とご多幸を祈ります。

英語科 林 貞子

月日のたつのは早いもので、私が啓明を退職し、はや7年になります。現在、孫達に会いに年3回位、神奈川のほうに参ります。家では、好きな書道に励んで居り、啓明で講師としてご活躍いただきました河俣先生所属の草心会で河俣先生のお世話になり、頑張らして頂いております。『人との出会いの如何に大切か』を学ばせて頂いています。今、啓明は尾崎校長のもと、全職員・生徒が心を一つにして頑張っております。どうぞ、同窓生の皆様応援してあげてください。『出会いを大切に、人・物に感謝のできる人生』をどうぞお送り下さい。皆様お元気で過ごして下さい。

英語科 佐野美智子

金星会の皆様、お元気ですか。創立八十周年おめでとうございます。1960年から1997年までの37年間啓明女学院に勤務いたしました。その間多くの卒業生の方と共に学び、なつかしい思い出の数々をいただきました。退職後はハウスイフの傍ら、好きな読書、ガーデニング、山歩き旅行、スキーを楽しみ、20年以上家族同様のニュージーランド一家との交流も続けています。一人息子は、現在イスタンブールに駐在中で、そのうち訪ねたく思っています。時折皆様からお便りをいただいたり、お会いするのも楽しみです。近くへお越しの節は是非遊びにいらして下さい。

聖書科 原谷 勉

二度と来ない 今日というこの日  
この一日を 百日のように 生きたい  
草花の詩人星野富弘氏の「百日草」の詩です。「今日」という「この一日」の尊さ、有難さを楽しみしみ味わうこの頃です。  
\*啓明に勤めて20年、退職後15年を数えますが、歳を重ねるにしたがい、古い一日がいとおしく蘇ります。  
\*啓明での日々を振り返る時、やはり、三宮の古き南北校舎時代が懐かしく立ち返ります。学校との個人的なトラブルもありましたが、それも含めて、狭い旧校舎のたたずまいと、そこでの生徒、教職員との深く濃い出会いと交流がありました。  
\*創立80周年にあたり、共に古い一日をいとおしまいたいものです。

## 現職の先生

国語科 岡本 玲子

卒業生の皆様、お元気でいらっしゃいますか。

早いもので私の啓明女学院での生活も四半世紀を過ぎてしまいました。学校説明会などで、いいお母さんになった卒業生の方から声をかけていただくようになりました。自分では若いつもりでいますけれど、月日の流れを感じる今日この頃です。

今年度は、ひさしぶりに担任となり、啓明学院中学校の1年生と一緒に毎日頑張っています。文化祭や体育祭、クリスマスなどで、また皆様とお会いできるのを楽しみにしております。

音楽科 隅田 郁子

卒業生の皆様、御無沙汰致しておりますが、いかがお過ごしでしょうか。年月の流れは実に早く、私も啓明でお世話になり27年目を迎えることができました。健康に恵まれ音楽教育に携わって来られましたことを感謝しております。さて学院も益々、設備等も充実し、後輩の生徒さん達も生き生きと学校生活を前向きに取り組んでいるようです。そして私事で恐縮ですが、昨年2月に孫が誕生し、日々その天使(欲目ですが)の成長ぶりを楽しみに幸せな毎日を送っております。2学期には文化祭もごぞいます。是非学

院にもお越し頂き懐かしい思い出話を聞かせ下さい。ではまたお会いできる日を楽しみにしております。

数学科 中出 恵子

卒業生の皆さん、お元気ですか？  
啓明に勤めて、早や23年が過ぎました。旧校舎時代、新校舎への移転、一学年14クラスの時代、啓明中学校の発足と、移り変わっていく啓明とともに歩んできています。

いつのまにか、生徒の保護者の方々の年齢を越えるようになってきました。

男女共学の中学部発足という啓明の歴史が始まって以来の大変革にとまどいながらも皆さんの母校が、発展していくように、日々、頑張っております。

皆さんと過ごした一年一年が、私の人生の大事な一ページとなって、今の私を支えてくれています。皆様のご健康とご活躍を心よりお祈りいたします。お元気で。

英語科 斉藤 利枝

卒業生の皆様には、お元気で御活躍のことと存じます。おかげ様で、私も健康に恵まれ、明るく優しい啓明生の皆さんと共に歩ませていただき、早20年になります。

今年は「アイアーン」という、コンピューターを使った教育機関の国際会議が淡路島で開かれ、啓明からも多くの生徒が参加します。運営委員長でIT教育のパイオニア、納谷淑恵先生(25回生 旧姓熊沢)や、関学大生リーダーの畠千世(54回生)は、その中枢で大活躍されています。啓明卒業生のすばらしいボランティア精神と、真に高い実力に、私は感動の毎日です。

これからも、いろいろな所で皆さんとの嬉しい出会いを楽しみにしております。

国語科 田村 巨

昨年から中学校の担当になりました。八年ぶりの中学生との出会い。さらに、男子中学生の入学という大きな変化。毎日毎日若い世代の子供たちとにぎやかな学校生活を送っています。どんどん変わっていく啓明に楽しみと少しの戸惑いを覚える今日この頃です。しかし、あなたが先輩が培って下さった啓明の精神をいつまでも大切にしたいと思っています。機会があれば、啓明を訪ねて下さい。



## 2002年度

# 金星会総会開催される！

昨年11月16日（土）午後2時より神仙閣で総会の懇親昼食会が行われた。現旧職員、同窓生合わせて203名の出席の中、讚美歌、聖書朗読、お祈りから始まり、渡邊会長の開会の辞、今井理事長、尾崎校長のご挨拶、会計報告及び監査報告の後、特別出演の在校生のコーラスや、19回生横山モト子氏の華麗な日本舞踊が、新進気鋭の東京芸術大学卒のフルート奏者増本竜士氏（19回生増本登志子御子息）と19回生梅岡寿美子氏の琴との合奏“上弦の曲”をバックに演じられた。また福引き等があり楽しいひとときがあつという間に過ぎ5時頃閉会した。



## 総会に出席して

いくつになっても、初体験は緊張する。初めて出席する金星会総会。しかも、司会者として。大学卒業後、夢を実現しフリーアナウンサーになった…あれから14年。こんな形で母校のお役に立てるとは！嬉しくもあり、少々照れくさくもあり…。卒業以来、初めてお会いする先生方は、少し白髪が増えてはいるが、その笑顔はあの頃のまま。讚美歌を唄うのも実に19年ぶり。忘れていた時間が、どんどん甦ってきた。いつもの学年同窓会とはまた違った新しい感動が、ここにはある。会場は、初めてお会いする先輩方・後輩ばかりなのだが、まるで久しぶりに会った親戚・身内のような懐かしさ。「これからも頑張りや！応援してるで」この温かさが啓明の素晴らしさなんだと改めて実感した。啓明に新しい風を運んで下さった尾崎校長先生、金星会の渡邊会長・役員の皆様との出会いも、私には新しい財産となった。金星会総会は、世代を越えての大同窓会。かなり楽しいですよ！勿論、来年も出席します。今度は仲良しの同級生を誘って。

### 4回生 松葉（後藤）牧子

数十年振りに同窓会に出席する時を与えられました。開催にあたりお話をいただきました皆様のご苦勞は並々成らない事だったと思ひ盛会に終わり喜んでおります。私は若き日に恵まれた出会いの縁に感謝すると共に「明日の出会い」にも期待し大切に思っています。会の進行、学院の沿革、21世紀に於けるビジョンを話されておりました。何しろ長い話でしたがその中で

一度も懐かしい飛田院長のお名前が出てこないのが非常に淋しい思いを致しました。テーブルの人達も何故？って、高齢となり恩師との出会いはないとでも沿革の中、恩師のお名前が無いとは。よく同窓会が在るごとに其の学校の同窓会が盛会で在ると言う事は輝かしい前途を約束されて居るとおっしゃられて居りました。

恵まれた学院の出会いの一つの財産となりました。懐かしい遠い思い出の中、飛田院長のお名前が出なかった事、淋しく友と語ったものです。

### 5回生 「一言コメント」

☆久しぶりに懐かしい先生や、先輩・後輩に会えて、とてもよかったです。

渡 かよ

☆食事が美味しく、皆満足でした。

岩井 静子

☆理事長、校長、前院長のお話で、学校の経緯がよく理解出来た。

木下 トミ

☆アトラクションのフルート、お琴の合奏よかったですし、舞踊もきれいで別品さん！

小野美也子

☆可愛い制服姿の後輩達のコーラスを聴かせてもらい、とても懐かしく思った。

松山 まさ

☆福引（空くじなし）が凄く面白くて楽しかった。谷本 治美

☆堅苦しくなく和気あいの会で、久しぶりに皆と楽しいお喋りが出来て、とてもリフレッシュ出来た。 小紫美代子

### 10回生 高尾（江副）寿美子

今回の総会は、会費もお祝いプライス三千円で、一人でも多くの方の出席を願う熱いメッセージを感じ取ることができました。艶やかな日舞や懐かしい制服姿の在校生のコーラスに心と和みながら、恩師を囲み又会員同志の語らいの時は尽きませんでした。新入会員は五十五回生とか、つくづく我々はシルバー世代の域だと実感したことです。青春時代を共に過ごした師や友との出会いのなんと輝かしいことかと思わずにはおれません。

### 13回生 藤田 昌代

総会には初めての出席でした。42年振りだ！改めて数えてみた。皆どんなになったかな？ 逸る気持ちを押さえ会場へ、13回生は12名のみでしたが、皆、不思議な位変わっていない。うわぁ誰々！ 会場は一気に啓明時代、どの顔もまさに18才♥先生方も昔のまま。あー出席して良かった！ 役員の皆様のご尽力に深く感謝申し上げ、我ら啓明の益々のご発展をお祈り申し上げます。

### 19回生 小間 敏子

何十年振りかで恩師・先輩・後輩・同級生と礼拝をまもり、校歌を合唱し、同窓会会長渡邊カナコさんのすばらしい英語のスピーチ…感動・感激・感謝で胸がいっぱいになりました。人生ながく生きていくといろんなことがあり、どこで学んできたか、どんな生活をすごしてきたか、どんな恩師・友人・知人・家族がそばにいるかということは、その人の人となり・品性・顔にあらわれているな—とつくづく感じる今日この頃。なつかしき恩師・先輩・後輩・同級生との再会、すぐに、純粹・無垢のあの頃に、ありのままの自分自身にかえられて、何かすばらしい生きていくことの、生きてゆくことの活力をいただけたような気がします。

又、今回は、同級生のお琴と舞のおひろめもあり、がんばっている各々の芸の絶妙なコラボレーション…これ又、感動しました。若き日の夢を形にあらわしてゆく。いいですよネ。

今年は「啓明女学院創立八十周年」又関西学院大学継続校と新たなる教育改新、キリスト教主義による人格陶冶と社会に有用なる人材の育成を目的として創立された我が母校栄えあれ。

司会  
36回生  
能崎 まゆみ





# 啓明女学院

昭四九 「たちばなのかをり」が発行される  
 昭四八 創立五〇周年を祝う。記念誌 Fifty Years of Memo  
 昭四八 飛田昌久院長、逝去される。本城敬三氏院長就任  
 昭四七 小豆島の内海町西村小学校を夏期校舎として借入れる  
 昭四六 専攻科新設（モース斉藤科長）  
 昭四〇 北校舎2号館（鉄筋3階建）新築  
 1965 飛田昌久院長の肖像を建設  
 記念誌 Forty Years of Memories が発刊される

昭三五 創立四十周年を祝う。学院歌「啓明」誕生（作曲：河上敬三）  
 昭三五 生徒数増加に伴い南校舎（旧セントマリア校）を購入  
 昭三四 飛田依久子副院長永眠される  
 昭二六 北海道への修学旅行が開始される  
 1951 新制高等学校が認可される  
 昭一三 ホードから米国宣教師が派遣される  
 1948 J. B. カーブ氏が理事長に就任、米国ミッション  
 昭二二 6 3 制の新学制実施で新制中学校を開校  
 1947

昭二〇 窪田学蔵院長辞任、飛田昌久院長就任  
 1945 終戦、中井一夫氏が学院の再建に協力される  
 昭一九 生徒動員のため、ほとんど授業ができない状態  
 1944 日増しに軍事色こくなるが、毎朝の礼拝は続けられる  
 昭一七 1942  
 昭一六 1941 ハランド女史や全外国人教師が帰国される

「啓明女学院」と改称  
 敵国宗教、敵国教育との軍部の圧力が強化され、校名を  
 「校歌」がヒルバン師により作詞される  
 校章及び校色「紫色」が決定される  
 昭一五 ハランド院長辞任、窪田学蔵氏院長就任  
 1940  
 昭八 学院創立十周年が祝われる  
 1933  
 天一五 パルモア女子英学院より最初の卒業生を送る  
 1926  
 天一三 公式に「パルモア女子英学院」を名称変更される  
 1924  
 天一二 （この年より数えて八十周年）  
 1923 ハランド女史パルモア女子部の責任者となる  
 天三 男子パルモア学院のタイプ科に女子の入学が許可される  
 1914  
 明一九 翌年パルモア学院と命名  
 1886 J. W. ランバス師、神戸にて読書館を開設



校章



ランバス師



ハランド院長



旧北校舎



パルモア女子英学院第一回卒業生



飛田昌久院長



パルモアより啓明に校名変更 (昭15.12.7)



ミッションボードより派遣された宣教師の先生方 (1948年～1966年)



啓明女学院新聞 (昭39年)



祝40、50、60周年学院記念誌



昭和33年千刈キャンプ 美田先生と共に



# 80年の歩み

- (昭五〇) 1975 本城敬三院長辞任、モース斉藤院長就任
- (昭五一) 1976 理事会にて、神戸市須磨区横尾に校舎全面移転を決定
- (昭五二) 1982 旧南北校舎を売却、新校地にて起工式を行う
- (昭五七) 1983 新校舎完成し竣工式を挙げる
- (昭五八) 1983 創立六十周年を祝う 記念誌 Sixty Years of Memories 発刊
- (昭六〇) 1985 卒業生数 八三四七名  
日棟完成(3階建 8教室 1ホール)  
神戸市建築文化賞受賞
- (平三) 1991 創立七十周年記念同窓会名簿発刊  
全校生徒一八〇〇名
- (平五) 1993 創立七十周年記念同窓会名簿発刊  
創立七十周年を祝う
- (平六) 1994 モース斉藤院長辞任 今井鎮雄院長就任 黒川行信校長就任
- (平七) 1995 阪神淡路大震災 校舎被害少々 入学生力試験実施せず
- (平八) 1997 中島貞夫院長就任
- (平九) 1997 サッカー部全日本高校女子選手権大会初優勝  
特進クラス発足
- (平十) 1998 パルモア学院、聖和大学、啓明女学院、ランバス関係姉妹校間協定締結(広島女学院、関西学院、黒川行信校長退職 祢津茂實校長就任)
- (平十一) 1999 サッカー部全日本高校女子選手権大会2度目の優勝  
放送部NHK学校放送コンクール全国大会優勝  
関学、啓明との協議会
- (平十二) 2000 関西学院大学との指定校推薦入学制度設ける
- (平十三) 2001 啓明学院の校章が決定される  
関西学院大学継続中学校(男女共学)として募集開始  
啓明女学院中学校を啓明中学校に改称し、啓明、関学協議会及び締結発足  
祢津茂實校長退職、尾崎八郎校長就任
- (平十四) 2002 創立八十周年記念募金活動開始  
夏制服変わる  
食堂新設  
土曜選択講座(サタデーカレッジ)開講  
啓明学院中学校第二回入学者数 男子57名 女子52名  
中島貞夫院長退職
- (平十五) 2003 プール新設 第2グラウンド整備  
格技室建設  
宮田満雄院長就任
- (平十六) 2003 卒業生数 一七三九名  
創立八十周年記念同窓会名簿及び同窓会報を発刊  
創立八十周年を祝う

※赤線は下欄の写真に関連



旧南校舎



現校舎納入式 (1982年)  
宮崎明治理事長 モース斉藤院長



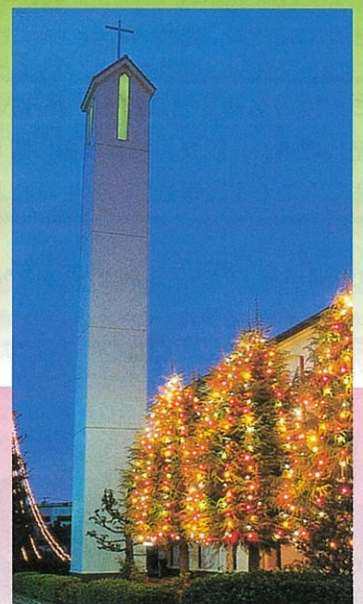
現校舎 パソコン教室



高3九州旅行(昭26年)  
浦上天主堂(原爆降下で修復中)



第5回ホームステイ(アメリカ)1980年



クリスマス 現校舎



サッカー部全国優勝2回



啓明学院中学第1回入学式 2002年



啓明学院校章



# 創立80周年記念 金星会名簿 完成!

## ご購入のお願い!

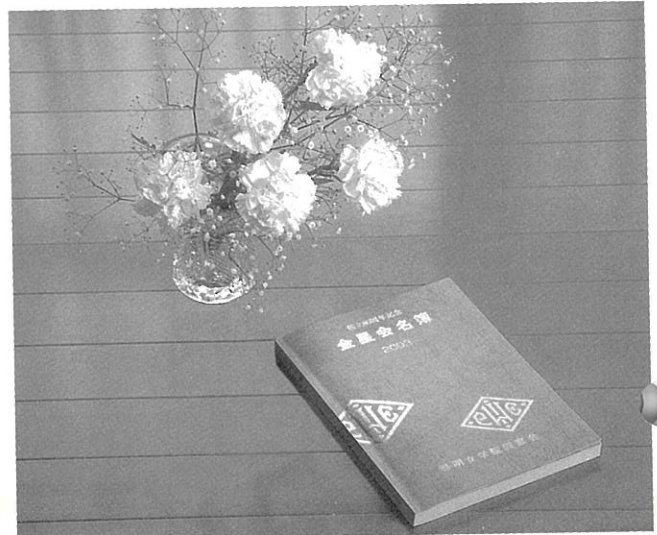
創立80周年記念「金星会名簿」が、多くの方々のご協力のもと、ようやく改訂、完成致しました。会員住所氏名（卒業時クラス・担任名）、学院の歴史、懐かしいカラー写真や楽しい会員メッセージ（200名分）が満載され、80周年にふさわしい豪華で美しい大変使い易い名簿になっております。佳節の記念に是非ご購入下さいませよう、お願い申し上げます。

- ☆ 現時点（8月末日現在）で、570名の方に予約お買い上げいただいております。誠に有難うございました。
- ☆ 名簿発行に至る迄、数回の調査費、作成代、ご案内等に膨大な経費がかかります。
- ☆ 従って、会員数17,000名余の10%、約1,700名の方のご購入を最低目標としており、現在の状況では、多額の赤字になります。
- ☆ 同窓生の皆様には、これらの事情をご理解下さいまして、お一人でも多く名簿購入のご協力を、何卒よろしくお願い申し上げます。  
(前回1993年版は、会員数約12,000名の12%1,440名の方にご購入いただいております)

前回名簿完成時には、約3,000名の住所不明者が残っていましたが、今回は、阪神大震災の影響もあり、5,000名以上の住所不明者があり、種々の調査と皆様のご協力により、約800名の方の所在が判明いたしました。転居の際には、金星会事務局（啓明女学院内）迄、新住所を必ずご連絡下さい。

この度の名簿発刊に際し、祢津茂實前校長に学院年表・歴代理事長、院長、校長の欄に関して多大のご協力を頂きましたことをご報告し、先生に心より感謝申し上げます。

## 和田和子先生をお迎えして



- B5判275ページ
- 表紙は、パープルピンクに金文字・金色校章入り
- グラビアカラー写真10ページ
- 現・旧教職員・役員・会員（S24年～H15年卒業生17,000名分）名簿

### 今すぐ下記へお申し込み下さい!

フリーダイヤル

## 0120-11-8556

(土・日・祝を除く10時～12時/13時～16時)

### 1冊 4,800円 (消費税・送料込)

代金引換郵便にて発送

電話での購入ご案内もしております。

昭和26年から昭和31年5月まで、英語と英文タイプを教えて下さった和田和子先生が久しぶりに来日されることになり、急ぎよ、「和田先生を囲む会」を有志で、開催いたしました。先生は現在Los Angelesにお住まいで、近くにおられる御息女の御一家と、幸せに過ごしておられます。

2002年10月18日正午から、国際会館10階「西村ダイニング」で先生をお迎えいたしました。5回生から14回生まで16名が出席し、白髪のお元気な先生に久しぶりにお目にかかり、皆、喚声をあげ大歓迎いたしました。会食後、全員が自己紹介をしましたが先生は皆のことをよく覚えて下さり感激でした。先生が、歩んで来られた現在までの人生について聞かせて下さいました。又、バルモア女子英学院で在学中のことや、バルモアで学ばれた事がその後の人生にいかに関与したかと言うことなど、大変興味深いお話を聞くことが出来ました。出席者全員、可愛いピンのおみやげを頂いて、再会を約束し散会いたしました。

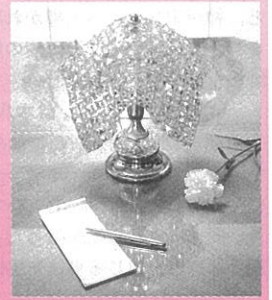
(7回生 高瀬佳子)



# 卒業生80人に聞きました

下記3項目の質問より1項目を選んでもらいました。

- ①啓明女学院を卒業して良かったと思うこと。または良かったと思う時。
- ②印象に残った授業、または役立っている先生の「あの一言」。
- ③心に残る思い出。



(敬称略)

## パルモア女子英学院 卒

### 7回生

和田 和子 (那須)

①英文速記、英文タイプライターの免状取得に依り卒業後、三井物産株式会社入社速記とタイプを活用出来ました。又東京銀行ロスアンゼルス支店勤務時は東京本店との連絡を毎日テレックスにて20年打ち続けた。

〈付記：前ページの和田和子先生です。〉

### 8回生

志水 幸子 (井藤)

①米人のミッションナリーハランド先生他米人の先生方のネィティブの英語を他英文タイプ英文速記を習得。結婚後印度へ行ったけれど夫の戦時中病死後新制中の英語教師後啓明に奉職出来た事がよかった。

### 16回生

稲葉 律子 (吉川)

①ハランド先生や諸先生からあの時局読み書き話す事は勿論タイピング速記コレボン英文学等徹底した英語教育を受けました。基督教を礎に礼拝堂のあるパルモア女子英学院を卒業し良かったと思います。

神田恵美子

- ① 80年前、キリスト教に根ざした女子教育に使命感を感じ、故郷を後に来日された先生方の信仰を継承させていただいたこと。
2. 私は現在80才、今尚英語を聞き、読み、書き、話すことの幸せを得たこと。

### 17回生

村井 和子 (柴田)

①キリスト教にふれ、イエスキリストを信じて歩むことを決心させられたことです。卒業して60年の歳月が流れましたが、そのことを今も心から感謝しています。

### 18回生

木下 好子

①何よりもイエス・キリストとの巡り会いがあり、栄光教会に導かれ、洗礼を受け、クリスチャンにして戴いた事。私は今は神戸聖愛

教会の会員、一族も全部クリスチャンです。感謝！

### 19回生

大竹瑠璃子

●私はパルモア女子英学院に希望にもえて入学し、在学中校名が変り、卒業証書は英文で啓明女学院であります。

戦前戦後の平和な時と異り私達は日本の不幸な時期の忌わしい時代の学生でした。英語は敵国語であると排斥されながらも一貫して学びました。

在学中に校章、スクールソングが作られ、院長シージー・ハランドや外国人の先生方が慌しく帰国し、戦争が始まり、啓明の在学米機爆撃による危険に備えて疎開が始まった。

終戦の前年私は卒業しました。僅かな在学でありながら、英語の基礎はみっちり学んだと自負しています。終戦後、クラスメートの多くは、啓明で学んだ賜により、直ちに社会に重宝され、又啓明でも先生不足の折、当時の院長に懇願されて英語の授業も引き受けました。戦前、戦後の啓明の苦しい時代のジョイントの役目も果たせたと伺っています。

私達のクラスの5～6名は外国籍でその人達が帰国する時に合わせて、クラス会をします。讃美歌やスクールソングを歌い、祈り、思い出話や現況を語り、年を忘れて楽しい日を持ちます。学生時代に養われた信仰と学が、私共の糧として身に備った賜であることを信じ、これからも感謝の日々を過していきます。

### 20回生

佐原 彰子 (元林)

①他校を異なるキリスト教徳育、少数精鋭の英語教育の御蔭で、敗戦直後の卒業、米駐留軍の「アメリカンデモクラシー」と叫ぶ社会ヘプライドを持って飛込められた事、感謝のお相手はシャナン先生、飛田院長。

### 21回生

中村 尚子

- ②・太平洋戦争のため、あまり授業は受けられなかったが、入学直後から教科書無しで耳から口へ直接英語に触れたこと。
- ・音楽の美田先生にドイツ語式音符の読み方と絶対和音を教えられたこと。

## 啓明女学院 卒

### 1回生

吉川 朝子

①戦中戦後を通じて混迷の時期に在学しながら朝の礼拝には心打たれる立派な先生方に薫陶を受け今迄の人生を心豊かに過ごさせて頂いた事苦しい時には「主よ御許に近づかん」を歌い力を得られた事。

### 2回生

吉村 照子

③啓明女学院へ入学致しましたのは昭和18年でした。戦時中にもかかわらず穏やかな雰囲気には驚きました。当時窪田学蔵院長のもとに毎朝の礼拝、週一度のクラシックのレコードを聞かせて頂いた事が印象的です。

### 3回生

高田 文子 (西村)

③朝の礼拝、唄った讃美歌、聖書のお話、70才の今も思い出します。他校を借りての体育祭、クリスマスの聖歌隊、等々心に残る思い出ばかりです。卒業式に「また逢う日まで」の讃美歌を泣きながら唄いチャペルから送り出された日の事を生涯忘れられません。

### 4回生

鈴木 輝子 (目賀田)

●遠出が思うにまかせず、先のお窓会は欠席しました。昨今では見られぬ家族的な校風で貴重な中高6年間でした。互いの家族構成、家庭事情まで知り尽し、利害関係のない付き合いの出来るクラスメイトは、私の宝です。

### 5回生

那須喜久子 (天羽)

③学年一クラスでとても仲良しのクラスでした。放課後毎日須磨へ泳ぎに行ったり、近くに映画ロケありと聞けば授業をボイコットして見に行ったり、作り物のヤモリで社会科の先生を驚かせたりと諸々、これ全てクラス全員でやったんです。ハチャメチャ青春時代とでも申しませうか。



## 6回生

佐藤 陽子 (本谷)

①若き日に造り主を覚えたこと。その恵みが二人の娘の家庭一孫たちにも及んでいること。神戸栄光教会へと導かれ現在に至る信仰を与えられていること。魂の触れ合う多くの師と友が与えられたこと。

鈴木八重子 (北浦)

②英語を初めて教えて下さったのが中村先生。とても美しい発音、ゲーム感覚の授業、先生の質問された単語のスペルを順番に答え、間違ったら着席、残った人が勝。海外で相手と意思が通じる事は先生に感謝。

## 7回生

立木とし子 (金野)

③おちこぼれでした。セピア色の青春ただ中で目眩めく先輩に憧れましたが及ばず残念。自己を知ったステージ「啓明」、ジャンプ台となったソフトボール部、美しい眼差し綺麗な心よりブラボー。

## 8回生

北澤富美子 (木村)

③中学に入学したのはS25年…今思い返せば古き良き時代でした。担任は飛田副院長、厳しさと優しさを兼ね備えた先生。髪はup、白くお化粧もされ校内監督厳しく注意を受けた事、今懐かしく思い出します。

## 9回生

河井 祥子 (新井)

①全学年一クラスの現代では貴重で個性的な雰囲気の中で学生生活を送り、特に英語の授業は他の課目より多く外人の先生の楽しい授業はユニークで、その時に学んだ英会話は役に立ち現在に至っている。

堂坂多美子 (最上)

③母校を離れ早や半世紀近くになりますが、ESSの英語劇やキャンプ等、懐かしく思い出されます。鏡を使った発音練習は特に印象に残っています。又奉仕の精神を胸に残る人生頑張っていきたいです。

## 10回生

片岡 愛子

③中一の文化祭で「ねずみの嫁入り」と言う英語劇に出演し、花婿を演じたことが、今も心に残っております。昨秋、ご指導いただいた和田先生に40数年振りに再会し懐かしさで胸が一杯でした。

東 多賀子

②教室に活けられた花の学名を全員で唱えさせること20回余、「これで一生忘れないよ。」と二杉先生。肝心の数学は殆ど記憶から消えた今、たしか「カンパニューラムグロメター」と言う名だけは覚えている。

## 11回生

岸 秀子 (佐方)

①「定年のない仕事」をしている私を友人らがうらやむ事がある。文化センターなどで大人対象の英会話講師をして約20年。小原流いけ花教授者として外国人に英語でいけ花を時どき教えている。

須田悠喜子 (吉川)

①今年3月、25年間続けた児童英語講師の仕事を終えました。児童英語教師の一番の要素である発音の正しさ、良さを自負した事も度々です。そしてその度に啓明の英語教育を受けた幸せを感じます。

## 12回生

長尾美枝子 (石丸)

③異国風の白い校舎やチャペル、家庭的な雰囲気の中で学び、試験の後、宝塚歌劇へ直行も度々、礼拝中「お静かに」「あなた方は」と、副院長先生に叱られた思い出等いっぱいの良い女子学院時代でした。

木村 友子 (高木)

①息子の相手は啓明の卒業生で、息子と同じ歳、私とまったくの親子の彼女、学んだ校舎も思い出も違います。でも忘れかけていた我が母校を彼女は思い出させてくれました。不思議な縁で、そう思います。

## 13回生

高田 悦子 (奥野)

③今から43年前の修学旅行、定山溪温泉「章月」。そのたたずまいは宮殿さることながら部屋も和室と洋室がありなんとベッドが置かれてあった。びっくりするのと同時に嬉しかった事が今も鮮明に覚えている。

高畑 恵子 (飯田)

①キリスト教主義の学校であった事により強制ではなく教会へ行くようになりそれも友人が誘ってくれたのです。青春時代にキリスト教について考えることが出来共に受洗出来たことです。ありがとう。

## 14回生

伴 玲子 (芦田)

●10代の頃は「夢の又夢」頭脳も足腰も弱ってしまっています。世界を見ると申し訳ないと思う幸せボケの毎日です。貧者の一灯を献じ続ける日々を送りたいと思っています。

## 15回生

高松富二子 (鈴木)

②“ASDF”と山本先生の声に弾んで打った英文タイプ。商社勤務の時タイピストに頼まずにすんだ。指先の記憶は今も衰えずPCを難なくクリアー。外国人や啓明同窓生とメールを楽しんでいます。

BOLZER クニ子 (服部)

①啓明で学んだ事で米国大学へ留学の発想と実現。そしてその後体験した宗教が基盤となるヨーロッパの生活も、啓明での6年間の

聖書の授業があったからこそ理解出来、楽しい事も出来たのです。

## 16回生

溝橋 道子 (稲田)

②今も覚えておりますのは「言われた事だけでなく、それ以上の事をしなさい。」という山本先生のお言葉です。ご自分に厳しい先生のお琴のご演奏を聞かせていただく度に思い起こしております。

## 17回生

寛 伸子 (田中)

③演劇一筋の3年間。色々な役を演じた。未だに「夕鶴」の“与ひょう”の台詞を覚えている。“つう”とのラブシーンを照れながら練習した事を思い出す。後輩達からファンレターをもらった事も懐かしい思い出。

才田 章子 (箱根)

③良き恩師・友に巡り会い、一緒に遊び・勉強にまた北海道・九州への修学旅行の楽しい学生生活を通して青春を謳歌した様に思います。又、毎朝の礼拝の時間に歌った讃美歌がいつの間にか私の生活の糧となり心を癒してくれています。

## 18回生

江田 幸子 (畠中)

③現在では、新幹線又は、飛行機を利用しての修学旅行でしょうが、私達は九州地方には船旅(くれない丸、むらさき丸)で、北海道には三段ベッドの夜行列車と青函連絡船と貴重な体験をいたしました。

## 19回生

横山モト子 (榊原)

②芥川龍之介の小説はなぜこんなに摩訶不思議なのかという私の素朴な質問に、杉山先生がそれは昔の説話からとっているんだよと即答。ああそうだったのかととても納得して、さすが先生だと感心した。

森 登志恵

①啓明の6年間が一番輝かしい時代です。皆、希望に溢れ、明るくのびのびと、個性豊かで物怖じせず、思いやりのある前向きな頑張り屋さん達で一杯。キリスト教で精神面も学んだ誇り高い青春でした。

## 20回生

伊田美笑子 (門野)

②進学先で悩む私に教職取得を進めて下さった恩師の一言「やりがいのある仕事だよ。」幼稚園勤務後結婚し退職。復職7年目となる今、年少児を担当し、やりがいのある仕事が出来ると喜びを感じている。





鳥居 栄子 (森)

①私が啓明を卒業してよかったと思う事は一にキリストの教えにふれたこと。二に外国人の先生方の生きた英語を耳に出来たこと。三に増田先生を始めとし、多くの先生方と密に心の交流が持てたことです。

### 21回生

奥村 観子 (稲葉)

②人間は変化しても変色はするな!!と増田先生に言われた言葉は、私にとって変化する事は成長と努力であり、変色するな!!は忍耐と寛容だっと思います。相変わらず、好奇心旺盛・面倒見の良いおばさんです。

### 22回生

須河内かすみ (近野)

●多くの人々に愛を与えると、幸福感が出るということを最近知ることが出来ました。啓明女学院での学びの基礎になりました。

### 23回生

辻田 千里 (高崎)

①啓明を卒業して長い間、高校を思い出す事もなかったのですが、娘が中3で進路を決める時、高校時代が思い起こされ同じ啓明に行かせたいと決意しました。娘と一緒に学院歌や讃美歌を歌っています。

今、娘が啓明女学院に通っており、来春卒業を迎えようとしています。同窓会活動が末永く発展していくことを願っています。

嵐 延子 (中江)

③高2の冬、同学年同志で婚約し、指輪着用禁止の校則に対して指輪をバンドエイドでかくし、これは飾りでなく心ですと、許可を願ひ、高3の折、担任の祢津先生に許可されました。細い金の輪をもらった少年は主人です。

荒川 悦子 (池本)

③「神共にいまして」の讃美歌に送られて、舎を去って早や31年、中山手の北校舎から東急ハズ裏の南校舎を単語帳片手に移動した日々。狭い運動場で体育大会の練習。今の素晴らしい啓明の校舎からは、想像もつかない狭さ、それでも先生や友人との距離の近い分だけ家庭的なぬくもりのある校風でした。あの頃の先生方の教えが、今も私の背骨にピシッと入っています。啓明は私の人生の支え、これからも益々の繁栄をお祈りします。

### 24回生

神吉 恭子

②「人間は働く為に生まれて来たのだ。」まじめに働く事が大事。米の値が下がっても農業を続けています。資格は多く取っておいた方がいい。役に立つ時が来る。好きな事だと勉強も苦にならない。

深堀 英子 (森田)

②原谷先生の宗教の授業。キリスト教の歴史や知識を単にテキストで学ぶ方法では無く現実には起る様々な社会問題や事件をキリスト者としてどう考えて行くかといった内容の、質の高いものでした。

### 25回生

後藤 美幸 (林)

①結婚して、女の子が出来進学の時、娘の意志も確かめず啓明に入学させ、20才を過ぎた時に娘に聞いて見た。子供が出来たら啓明に入れる?娘は「うん入れるよ」と一言。親子で、言える啓明バンザイ!

### 26回生

山田 初美

①「啓明は英語が達者」「トイレ掃除は“美人”になるため」卒業後、カナダの大学に留学し、今も何故かトイレ掃除を楽しめる30年前の卒業生です。美人にはなれなかったけれど…元気なおバさんで頑張っています。

山下 久美 (前田)

②数学の松井先生、英語の林先生の授業は、きびしい中にも、笑いがあり、おかげ様で進学クラスでの3年間は、部活のテニス部に所属しながら、充実した毎日で、甲南大学に合格する事ができました。

### 27回生

三浦 悦子 (松下)

①先日TOEICテストの結果が届き、予想以上に良かったので嬉しかった。これまでを振り返ると、常に前向きに生きてきたと思う。これも中学高校の6年間で真面目に努力する事を学んだお蔭だと感謝しています。

加藤 和子 (河村)

③バスケット部の仲間と汗水流した夏の合宿。苦しい事、楽しい事を共に乗り越えたのも博愛と奉仕の精神があったからこそ。海端先生のきびきびした声は今も忘れません。部活の友達は今もかけがえのない真友です。

### 28回生

岩井 若子 (佐藤)

②心に残る授業一故松尾田実子先生の古典。先生の知識の豊富さが「田実子古典ワールド」へ我々をぐいぐい引き込んでいく。楊貴妃の話、先生の優雅に舞う扇、先生がこよなく愛した芭蕉一忘れられません。

### 29回生

布澤 成子 (安田)

①私達は、毎年憧れの大西先生宅を訪問しています。会話が弾み女子高生に…素晴らしい友、出会いに感謝しています。今からは可愛い素敵なおばあちゃんになる修行をしようと夢みしています。

### 30回生

藤本 雅子 (片井)

①炎天下の校庭で増田先生の号令に合わせて足並揃ってまで繰り返した行進の練習。はいつくばって磨きあげたトイレ掃除。どんな事にも真剣ととりくむ姿勢の大切さ達成する喜びを啓明時代に学びました。

### 31回生

水山 洋子

●素晴らしい発展をさせていく母校にもう一度学生となって学びたい気持で一杯です。

### 32回生

中岸 圭子 (正垣)

①私は中高6年間を啓明でお世話になりました。石山先生や先輩方との出会いによって多大な影響を受け、ダンスの素晴らしさを教わりました。この事が、私のダンス指導の原点となっています。

### 33回生

エメリー香織 (内田)

①毎朝讃美歌を歌い、聖書の朗読を聴き、祈りによって一日を始める啓明での日課が、現在の私の信仰を導き、守る土台を作ってくれたことに感謝しています。

田村真由美 (川原)

③私が思い出すのは、都会で遊び心を誘う南校舎とちよっぴり異人館を思わせる様な校舎です。今はない心の校舎。しかし、日々啓明女学院が発展しています事を嬉しく思います。

### 34回生

山下貴志子 (中杉)

③明けの明星がますます輝きを増されますように。母校の教えは、なつかしさと共に、今も日々心にとどめて毎日を過しております。

### 35回生

小林 佑美

②2年生の時の担任の手島先生の「登さんを連れて行ってほしい」という一言がきっかけで登さんと仲良くなって、八木さんと出会うことができました。八木さんとは今もつきあっています。

### 36回生

田代 英美 (樹野)

②私の心に残った授業は英語担任の林先生のテスト前の「これテストに出る!出る!」攻撃です。マーカーで印を入れて覚えようと頑張った記憶があります。実際全部出題されたかは定かではありませんが…。

### 37回生

松岡 幸代 (浦野)

③私の両親は目が不自由でしたが母は学校での三者面談には加古川から来てくれました。担任の田村亘先生が母を校門で迎えて下さったり、また斎藤院長から優しい言葉をかけていただいたり、とても感謝しています。



### 38回生

石本冨美子 (鳥)

①三人の子供たちに悪戦苦闘しながら、ママさんバレーにPTAに、地域活動にと多忙な日々の中、ふと啓明の事を思うと、楽しいときを過ごせた事、なぜもっと素直になれなかったのだろう?!と、ちょっぴり後悔したりです。

### 39回生

栗山あおい

③高3の運動会での仮装競争(?)。担任(千古先生)が憧れていたウェディングドレスを着ての結婚式。私が新郎をやりました。一番の思い出ですが、いまだに実際の結婚式を経験できずにいます。

### 40回生

中村 智(龍見)

①1年間の米国留学、暗誦大会、朝の礼拝の聖歌隊等々啓明でこそ様々な経験ができたこと感謝しております。現在啓明で得た知識と精神を伝えるべく、小2、年長組、2才の3人の子育て真っ最中!

### 41回生

池田 愛香(東)

②「You are special! 私は出会う人すべてにそう思うの。」特別講演で話された言葉。つらいときよく思い出します。どんなときでも前向きに生きていこうといつも支えられる言葉です。

河原 由香(西山)

③担任の先生にも恵まれ、3年間の啓明女学院生活は、今では(?!)良い思い出ばかりです。唯一気になる事は、1年生の時に埋めたタイムカプセル…あれはどうなったのだろう?という事ですね。

### 42回生

松本 陸湖(戸張)

①啓明女学院には、ネイティブの先生がいて英語の授業が充実していたので、在学中に英語が大好きになりました。二児の母になった今も、英会話学校に通う程好きになれたのは、啓明のおかげ!です。

### 43回生

番原めぐみ(上田)

②啓明に入学しなければ触れることのなかった聖書との出会い。「何事にも感謝せよ」という言葉は辛い境遇にあった時私の心を落ち着かせてくれます。これからも心に留めておきたい言葉です。



### 44回生

正木美穂子

①英語の世界に浸り、生徒会長を経験した事で、人生が方向づけられた。仕事で海外要人への取材の際の語学力、度胸、基礎能力は啓明で養いました。もし啓明でなかったら…今頃どうしてたでしょうね。

### 45回生

櫻田 成美(藤本)

①念願叶って看護師になり、7年、現在は、第一子出産を間近に控え、主人と2人とても幸せな日々です。同窓会やクラス会に是非参加したいので声を掛けて下さい。

橋本 泰子(小村)

①啓明を卒業し、短大、就職、結婚、そして出産と、時代の変遷の中で様々な事がありました。“啓明”で学んだひとつひとつを心の糧にしてゆきたいと思います。

### 47回生

谷口 奈緒

②授業ではないですが、毎朝の「主の祈り」は今でも覚えています。

今でも「困った時の神頼み」は、「主の祈り」です。

効果があるかどうかは…。

瀬良 智美

①私は啓明で大切な友人、先生方に会いました。今は色々な環境で頑張りながら私を支えてくれる友人、何年経っても優しく迎えて下さる先生方の存在が私にとって掛替えのないものとなっています。

### 48回生

宮下真希江

●中学高校の6年間を啓明で過ごせたこと、キリスト教と出会えたこと、親友と出会えた事、震災という経験を共に分かち合えたことに感謝しつつ、今を生活しています。



## Home Coming Dayのお手伝いを してくださる方募集!!

日時: 10月11日(土) 9:00~15:00

人数: 数名(定員になり次第締切りさせていただきます)

お仕事: 同窓生喫茶室の接待など。

◎交通費、お弁当支給

お手伝いしてくださる方(卒業生)は、下記に

10月7日(火)までに御連絡下さい。

澤田(13回生) TEL・FAX (078) 801-1674

中村(4回生) TEL・FAX (078) 751-7280

### 52回生

北垣 伊央

①先日卒業以来3年ぶりに啓明を訪ねました。職員室に足を踏み入れると中高時代お世話になった先生方が顔を覚えていて下さり温かく出迎えて下さいました。啓明時代の温かさ、懐かしさに触れた一時です。

依光 香奈

③中2から高3までの5年間、生徒会に所属先輩後輩と共に文化祭をつくりあげてきました。生徒会長として文化祭をやり遂げた時は達成感と充実感でいっぱいになり今でも心に残っています。

### 53回生

堀岡 陽子

①私が啓明女学院を卒業して良かったと思う時は、英語を話している時です。中・高で斉藤先生や横井先生に鍛えられた英語力(主に発音)は、他の外大生にも負けない自信あり!!ですね。

### 54回生

虎熊 慧子

③高校3年生の時、文化祭実行委員長を務めた。上に立つプレッシャーで気が滅入っていたが、終わってから仲の良い友達からの「おつかれ様。楽しい文化祭ありがとう。」という言葉がうれしかった。

### 55回生

五十嵐実季

③やはり、6年間続けた讃美歌コーラス部の事です。私にとって学校生活の中心の一部でした。大胆に部長を務め常に新しい事に挑戦して一人走ってました。でも、体育館で歌った喜びは忘れられません。

④全回生に無作為で選んだ1~3名の方々にアンケートをお願いしましたが、お返事を戴けない回生もあり、名簿の会員メッセージより数名分掲載させていただきました。

表紙の題字「金星」は、第四回卒業生、中村(旧姓元林)俊文子氏による。



# 創立80周年記念募金 感謝とお願い

昨年10月発行の同窓会報「金星」紙上に『啓明女学院創立80周年記念募金事業趣意書』を掲載し、同窓生の皆様にも募金へのご協力をお願いいたしましたところ、昨今の厳しい経済情勢のなかにかかわらず、現時点で卒業生159名の方々が母校の発展を願って募金に応じて下さいました。ここにご芳名を記し、その温かいお志に対しまして厚く御礼申し上げます。今回は中間報告のため、各自のご寄付金額につきましては省略させて頂き、募金事業が終了しました時点でご報告させていただく予定でございます。尚、金星会から、2002年度として、1千万円寄付させて頂きましたことを、ご報告させていただきます。これら同窓生の愛の援助で、念願のプール建設資金の一部にお役に立てることを嬉しく思います。現在啓明は、校舎・諸施設の新築及び増改築用資金として、2億5千万円の借入金(2001、2003年度の合計)があり、10年かけて返済していかなければなりません。

募金の募集期間は、2006年11月30日までとなっております。なにかと多難な時とは存じますが、今後も同窓の皆様や各方面の方々のなお一層のご支援が期待されておりますので、何卒よろしく御願申し上げます。次回「金星」で

募金状況を再度ご報告させて頂く予定でございます。

願わくば全同窓生それぞれの一灯(金額に関係なく)が一つの大きな光となって、愛する母校と後輩達が世のため、人のため、より明るく輝いていく改革の具現化に少しでもお力添え出来ますよう心から祈っております。

なお、ご寄付につきましては、どうぞ下記をご参照のうえ、お振込み下さいませようお願いいたします。

◎1口1万円

◎郵便局備え付けの振込用紙をお使い下さい。

口座番号 00990-9-0004869  
加入者名 学校法人啓明女学院  
金額 手数料を引いた額  
通信欄 「創立80周年記念募金」  
「第〇回生または〇年3月卒」  
「氏名(旧姓名)」  
「〒」「住所」「電話番号」  
(※通信欄は上記項目を必ずご明記下さい)

◎銀行振込をご希望の方は、啓明女学院事務所にTEL下さい。振込用紙をお送りします。

TEL: 078-741-1506

## 御 寄 付 者 芳 名

(順不同・敬称略)  
(2003年8月15日現在)

回生	氏名	回生	氏名	回生	氏名	回生	氏名	回生	氏名
3	久保田 照子		角田 悦子		小野田 育子	19	河合 保枝		小林 佑美
4	嶋田 芳子		高見 悦子	13	斎藤 久佐子		内田 美登里	37	小紀 田由理子
	宮内 幸子		中島 治子		高畑 恵子		梅岡 寿美子	39	池田 麗子
	春藤 秀子		鷺尾 公子		高田 悦美子	20	横山 モト子		佐古 幸子
5	小野 文子		近藤 克子		村中 美矢子		森山 口麗子	41	長谷川 佳子
	大野 美也子		佐藤 祐枝子		竹中 美己子	21	山口 慶子	42	奥谷 嘉小里
	大田 郁子		田中 稔子	14	澤田 佐紀子		川末 千苗	49	嵐 惠利香
	西田 周子		内藤 純子		志水 悠希子	22	城野 惠美子		北原 亜矢子
	小渡 紫美代子		高瀬 佳子		北原 昭祥子	23	島村 美也子	52	坂東 麻路子
	寺嶋 由代子	8	立村 幸子		森本 敏八子	24	辻田 千里子	53	姉帯 田麻美子
	松山 まさ子		大上 まさ子		小太 華榮子		神吉 恭郁子	54	長尾 真理子
	藤井 懿子		大塚 満子		花田 眞佐子	25	野田 比登美子		木下 西摩美
	小曾 利美子	9	北澤 富美子		山本 裕美子	26	湯川 美帆子		大山 口千有
	藤原 静子		早川 友子	15	福田 裕子		山沖 花子		
	岩井 トミ子		渡部 節多美子		中尾 順富子	27	深中 津雅子		
	渋谷 弘恵美子	10	堂野 勢津子		高松 洋和美子	28	新田 原昌子		
	吉村 名美子		萬野 節子	16	高西 橋野子	30	田原 岨子		
	那須 由紀子		青野 啓愛子		高美 野陽子	31	山畑 睦理子		
	谷本 治美子		片東 多賀子	17	市川 智佳子	32	寺嶋 孝惠子		
	甲斐 光カナ子	11	高小 林美子		長谷川 雅英子	33	松浦 水文子		
6	渡邊 寿子		西馬 克美子	18	澤井 生周子		清杉 尾季里子		
	井後 正和子		小島 三貢子		麻生 周知子	34	山近 藤山子		
	末山中 津美子	12	中堀 圭子		秋都 純子		中村 貴志子		
	山本 金登美子		堀高 野邦子		宇宮 純峰子	35	山田 美季子		
	佐藤 麗子		河原 節子		波戸 岡本子		坂口 美香子		
7	兵井 圭子		和田 祥子		岡本 行節子		坂東 千香子		
	安藤 陽子								
									☆回生調査中 カヤタニ カオリ 加藤 安子 上記御二方金星会迄 御連絡下さい。
									合計 ¥4,597,000



# 祝 創立80周年 *Home Coming Day!* *Let's Meet !!*

日 時：2003年10月11日(土) 啓明女学院文化祭  
9：30～15：00 (この間、自由に御来校下さい)

場 所：啓明女学院  
市営地下鉄「妙法寺」(三宮から15分) 駅より  
バス ⑦③ ⑦⑤「啓明女学院前」下車  
(又はタクシーにて1メーター)

☆卒業生に紅茶とケーキ無料サービス

☆母校より80周年記念卓上カレンダーをプレゼント

(カレンダーは品切れ次第終了させていただきます。)

於 3階同窓生用喫茶室(15時閉店)

母校の華麗な変身ぶりを目にし、後輩たちの活動を楽しみ、大いに旧交を温めましょう。お誘い合わせの上、多数御参加下さい。

生徒クラブ活動・演技・  
PTAバザー・模擬店各種



## 「創立80周年記念礼拝」へのご案内

日 時：2003年10月17日(金) 13：30～15：00

場 所：啓明女学院 体育館

奨 励：広島女学院大学 学長 西垣 二一 先生

卒業生の皆様、お誘い合わせの上、どうぞ  
ご出席下さい。お待ちしております。



校舎全景

発行 啓明女学院同窓会「金星会」

〒654-0131 神戸市須磨区横尾9丁目5-1  
啓明女学院内

TEL (078) 741-1506(代)

FAX (078) 741-1512

E-mail : kinseikai@keimei.ed.jp

URL : <http://www.keimei.ed.jp>